

鳥取県芸術鑑賞教室で日本の伝統芸を楽しむ！

落語家 林家彦いち 師匠たちの落語や紙切りに全校生徒が引き込まれ、日本の伝統芸能である落語の世界を楽しみました。

鳥取県芸術鑑賞教室は、公益財団法人鳥取県文化振興財団が実施している事業です。落語を鑑賞するのは初めてのことでした。

台風の進路を心配した7月8日(火)。会場への移動中にわか雨が降ったもののその後は晴れ、これから本当に台風が来るのだろうかと思わせる天候でした。

最初に林家彦いち師匠に落語の見方や楽しみ方を教わりました。また、扇子と手ぬぐいを使って何でも表現してしまう技では、生徒からいくつかのリクエストがでましたが、すぐさま話芸を交えて扇子と手ぬぐいで表現されるプロの技をご披露いただきました。

それから本校の生徒4名が高座で短い小話を全校生徒に披露すると、会場全体に笑いが起こり和やかな雰囲気が膨らんできました。この生徒たちは、開演の直前に彦いち師匠から直接指導を受け、にわか仕込みの披露でしたが、観客を引きつけるすばらしセンスを持っていました。

その後は、林家ひろ木さんの落語、林家正楽師匠の紙切り、林家彦いち師匠の落語を満喫し、あっという間に時間が過ぎました。

正楽師匠の作品は校長室前の廊下に掲示してあります。来校された時には是非ご覧ください。

聴く態度、終演後の会場の片付けもよく、生徒たちの成長を感じる芸術鑑賞でした。

林家彦いち師匠、林家正楽師匠、林家ひろ木さん、素晴らしい日本の伝統芸をご披露いただきありがとうございました。また、このような機会をいただきました鳥取県文化振興財団の皆様には篤くお礼申し上げます。

